

日にち	学習内容	アドバイス
4月20日(月)	P.2 ①～⑳ ノート	③ 郊外は「校」外と間違えやすいです。「郊」には都の近くという意味があります。なので郊外は都の外、田舎という意味です。
4月21日(火)	P.2 ①～⑳ テスト	⑧ 「脚」は腰から先の部分、「足」は足首から下の部分を指します。なので、物については「脚」を使うことが多いです。
4月22日(水)	P.2 ㉑～㉓ P.4 ①～⑩ ノート	⑤ 雌雄は「雄」と「雌」を組み合わせた字です。男か女を分ける→どちらの立場かをはっきりさせる→勝ち負けを決めるという意味になりました。形も似ているので、しっかり覚えましょう。
4月23日(木)	P.2 ㉑～㉓ P.4 ①～⑩ テスト	⑩ 「窒」という字は「空」と間違えやすいです。しっかりと区別しましょう。
4月24日(金)	P.4 ⑪～㉓ ノート	⑫ 「境内」ですが、「けいだい」と読みます。「けいない」と読まないようにしましょう。㉑の「貼付」も読み方が難しいので、チェックしておきましょう。
4月25日(土)	P.4 ⑪～㉓ テスト	⑬ 「一喝」ですが、「強く注意する」という意味です。叱る際は「口」で注意しますよね?なので「口」が部首になります。他にも「喚起」や「満喫」など、「口」が部首の漢字も多いので、意味とあわせて覚えましょう。
4月26日(日)	P.6 ①～㉓ ノート	⑭ 「緩む」ですが「暖」と間違えないようにしましょう。「緩む」とは「糸の結び目が弱くなる」という意味から来ているので、「糸」が部首になります。
4月27日(月)	P.6 ①～㉓ テスト	⑮ 「憧憬」ですが、「しょうけい」と読みます。「どうけい」と読まないようにしてください。「憧憬」と書き間違える人もいたので気をつけましょう。
4月28日(火)	P.6 ㉑～㉓ P.8 ①～⑩ ノート	⑯ 「禍福」ですが「禍」は「わざわい」と読みます。意味は「良くないこと」です。つまり「禍福」は「良いことと悪いこと」という反対の意味の漢字を組み合わせた字です。「禍福はあざなえる縄のごとし」ということわざも有名です。気になった人は調べてみましょう。
4月29日(水)	P.6 ㉑～㉓ P.8 ①～⑩ テスト	⑰ 「肖像画」ですが「消像画」と間違える人が多いです。「像」を「消」してしまつたらまずいですよね…。

4月30日(木)	P.8 ⑪～⑳ ノート	⑳ 「軽挙妄動」は「軽挙」が「軽はずみな行動」、「妄動」が「思い込みで勝手に行動すること」という意味です。つまり、「自分勝手に行動し、他人に迷惑をかけること」です。中学2年生の皆さんはこんな行動しませんよね？
5月1日(金)	P.8 ⑪～⑳ テスト	㉔ 「鯨飲馬食」は「鯨(くじら)のように水をはがぶがぶ飲み、馬のように草をむしゃむしゃ食べること」です。同じような意味の語に「暴飲暴食」があります。
5月2日(土)	P.10 ①～㉔ ノート	⑧ 「一瞬」ですが「目」を「日」と間違える人が多いです。「瞬」は「まばた(き)」と読みます。「一瞬」は、「まばたき1回ぐらいの短い時間」という意味が分かっていたら間違えないはずですよ！
5月3日(日)	P.10 ①～㉔ テスト	⑰ 「繰り返す」も「操り」と間違える人が多いです。昔は糸を作る際、棒に何度も細い糸を巻き付けて作っていて、それを「繰り返す」と言っていました。そこから「同じことを何度もすること」という意味が生まれました。
5月4日(月)	P.10 ㉔～⑳ P.12 ①～⑩ ノート	⑳ 「洞」は訓読みで「ほら」と読みます。「どう」と間違える人が多いですが、「洞穴(ほらあな)」という読み方を覚えておくと間違えませんよ。
5月5日(火)	P.10 ㉔～⑳ P.12 ①～⑩ テスト	⑧ 「殖」を「植」と間違える人が多いです。「植」は「植物を育てること」、「殖」は「数を増やすこと」です。漢字の意味を考えれば、どちらを使うか分かりますね。
5月6日(水)	P.12 ⑪～⑳ ノート・テスト	⑮ 「肝胆」はどちらも「月」が部首です。「月」は「体の一部」であることを示し「肝」も「胆」も「人間の臓器」という意味です。「肝胆相照らす」とは「体の中まで見せ合うぐらいに、隠し事なく相手と通じ合ったこと」を表します。 ⑰ 「狙撃」の「狙」と「阻害」の「阻」を区別して覚えましょう。「狙」は「けものへん」なので「生き物にねらいをつけること」、「阻」は「こざとへん」なので「道をはばむこと」という意味になります。

4月16日に配布した範囲表では5月5日の内容がP.12 ㉔～⑳、P.14 ①～⑩、5月6日の範囲がP.14 ⑪～⑳となっていたのですが、誤りです。点検の際にP.14までやっていた人はプラスのページとしてカウントします。申し訳ありませんでした。